

歴史ミステリー

人類は 噛んで 進化した

骨から探る人類史

「保険でよい歯科医療を」
大阪連絡会 市民講座

2025.6.8日
10:30~12:30

会場 | M&Dホール
大阪市浪速区幸町1-2-34 保険医協同組合会館5階
Zoom

講師 | 馬場 悠男氏
国立科学博物館名誉研究員
日本歯科大学客員教授、座間市教育委員

80万年前の
ジャワ原人



戻せない

種が違う
進化現象



9000年前の
縄文人

同じサピエンスの
虚弱化現象

鍛えれば
戻せる



第10代将軍家
治正室
「心観院」

※みんな、私が研究させてもらった人骨です



申し込みは
コチラ

講師

国立科学博物館名誉研究員
日本歯科大学客員教授、座間市教育委員

馬場 悠男氏



略歴

1945年、東京生まれ神奈川県。1988年から国立科学博物館主任研究官、1996年から同人類研究部長および東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授(兼任)、2009年定年退職。

顎と歯を見ると、人類が何を食べて、どのように進化してきたかがわかる。300万年前の猿人は、硬い豆や草の根を噛むために、顎が頑丈で臼歯が発達していた。道具や火を使い肉を食べ始めた200万年前の原人以降では、徐々に顎と歯が小さくなったが、1万年前の縄文人では我々現代人に比べるとはるかに頑丈な顎とみごとな歯並びを保っていた。ところが、現代の若者や子供たちは、甘やかされた(甘やかされたい!)食生活によって、顎は華奢になり歯並びが乱れている。そんな状態を、江戸時代に先取りしていた徳川将軍とその親族の例をヒント(反面教師?)とし、何とか改善して、健康寿命を延ばしたい。

「保険でよい歯科医療を」

大阪連絡会

私たち「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会は、「誰もが、いつでも、どこでも、安心して、安全な歯科医療」を受けられるようにさまざまな活動をしています。

歯科医療を良くするために市民講座や歯の健康教室の開催をしています。市民講座では、健康な体づくりをテーマとして取り上げてきました。また歯科衛生士によるブラッシング指導、歯の健康教室などに取り組み、大変好評をいただいています。

「誰もが、いつでも、どこでも、安心して、安全な歯科医療」を受けられるよう市民の皆さんと一緒に歯科医療の大切さについて考え、ともに行動したいと考えています。

市民講座への皆さんのご参加をお待ちしています。

ACCESS MAP
保険医協同組合会館5F M&Dホール
 大阪市浪速区幸町1-2-34

JR難波駅(OCATビル)、地下鉄四つ橋線、千日前線、御堂筋線「なんば」駅から地下道を湊町リバープレイスに向かい、26-Aの出口から地上へ。湊町西の交差点を北上、突き当たりを左へ曲がるとすぐ。

主催 「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 大阪府歯科保険医協会内
TEL:06-6568-7731 FAX:06-6568-0564

〔参加申込書〕

「保険でよい歯科医療を」
大阪連絡会 市民講座

参加します()人

お名前	所属団体	電話番号
<input type="checkbox"/> Zoomで視聴希望 Zoomでご参加の方はメールアドレスをご記入ください		申し込み

参加のお申し込みは **FAX 06-6568-0564** までご返信ください